

2日間で
12件!

セクハラ・パワハラで労働相談



6月10・11日の2日間、連合は全国一斉で「働く女性の労働相談キャンペーン」を実施し、連合全体676件の相談が寄せられました。

全国の労働相談では「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」が26.9%、「マタハラ」が4.4%と全体の3割強を占めていました。

連合群馬では、女性委員と連合群馬女性職員が対応し、12件の相談を受け「上司が威圧的」「同僚からの嫌がらせ」などの相談がありました。

相談内容は、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」が全体の55%を占める結果となりました。

対応した女性委員からは、「労働組合があれば、組合が解決に向けて動いてもらえるのに、組合がないとアドバイスしても自分で対応していかなくてはならないので可哀そう。」などの感想がありました。

連合では、働く仲間の支援としてフリーダイヤルによる「労働相談窓口」(0120-154-052)を設けています。ぜひ、友人・知人に声掛けください。

“願う”平和から“叶える”平和へ

6月23～25日、6産別と1議員の計12名にて沖縄平和行動に参加しました。

今年は、「願う」平和から「叶える」平和へ。つながろうNIPPON!をキーワードに「2014年平和沖縄集会」が初日に開催されました。

集会では、基調講演「日米地位協定の抜本的見直しおよび在日米軍基地の整理縮小」について、沖縄だけの問題ではなく、日本全体の問題であること。また、平和式典では、地域・職場から「平和メッセージ」、連合広島への「ピースリレー」、連合沖縄「平和アピール」など全国各地から、働く仲間1,000人以上で共有しました。

2日目には、連合埼玉と合同で、沖縄戦の戦跡を巡り、当時の悲惨な状況や平和の大切さ、命の尊さなどを学び、最後は連合全体のデモ行進に参加し世論喚起の一翼を担いました。

多少のハプニング(?)はありましたが、参加者からは「参加して大変勉強になった」との感想も寄せられ、有意義な平和行動になりました。

是非、参加されていない方は積極的な参加をお願いします。



平和パレードで世論喚起する参加者

連合群馬ふれあいフェスティバル総括会議を開催

今年のフェスティバルを締めくくるにあたり、総括会議を7月14日、前橋さくらホテルにおいて開催し、55名が参加しました。

会議の中では、北川会長(フェスティバル実行委員長)から「ふれあいフェスティバルは家族、地域の皆さまに連合を知ってもらい取り組みとして定着してきた。更に今年は、地域に対し、積極的にアプローチしていただいたことで、手作り感のある内容となり、良い雰囲気の中で家族の笑顔が見られた取り組みとなった」と各地域の取り組みに対するお礼が述べられました。

会議は、県連合から各地区の取り組みを一括して報告するとともに、各地区からの補足説明や感想をいただいた後、総括素案を提案し、参加者との意見交換を踏まえ、全員で共有しました。



今年度の取り組みを振り返り挨拶する北川会長



伊勢崎地協の取り組みを補足説明する根岸副議長

連合群馬ユニオン 労災防止に向け安衛法を学習

連合群馬ユニオンでは、県内での労働災害死亡事故が多発していることを受け、6月21日に群馬県勤労福祉センターで「労働安全衛生法」の学習会を開催しました。

群馬労働局から健康安全課の寺村課長を講師に迎え、企業や事業所における「安全衛生委員会」の役割について説明を受けました。

安全衛生委員会は、企業における「経営会議や事業運営会議」と同じくらい重要なものであり、群馬労働局としては重きを置いている。一度、労働災害が起きると被害者のみならず企業にとってもダメージが大きい問題であり、労働災害の撲滅に向けた取り組みを強化してほしい」との要請がありました。

各企業での取り組みに向け、意思統一する貴重な学習会となりました。



ときには笑いを交えた寺村課長の講義